

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団体名	おたるご当地応援隊			
事業名	おたる運がっばと楽しく学ぼう小樽探学隊			
実施期間	令和3年10月3日・11月6日			
事業の目的及び期待する効果	<p>●事業の目的 日常的に生活する中で様々な所に目にする建造物はなぜ出来たのか？多くの観光客はどのような魅力を感じて来樽しているのか、自分達が住んでいる小樽は昔から現代までどのように街並みが変わってきたのか。今回は子ども達に参加してもらいやすいようにご当地キャラクターの「おたる運がっば」をホスト役とし小樽を楽しむ要素を加え、歴史の勉強という堅いイメージをキャラクターの力で優しくする事で興味をもってもらい、市内の住み方や歴史・保存に興味及び街づくりに関心を持つ体験学習にします。</p> <p>●期待される効果 若い世代から街に知識や関心を持つことで景観の大切さを知り、地域に根付いた人材育成に繋がり、本事業をきっかけに探求心が生まれ、市内各所に足を運び自ら学習する事を期待しています。</p>			
実施額	事業費	304,044円	助成額	297,044円

事業内容

【会場・開催時間及びテーマ】

- ・会場は運河プラザ中庭
- ・開催時間：午後13時開始～午後16時終了
- ・小樽案内人のガイド協力によりテーマ「JR小樽駅を中心とした近隣エリア探検」に沿って話を聞き、その後ガイドと一緒に向かい直接現地で学ぶ。

【探検予定ルート】

- ① 運河プラザ出発 → ②中央通り → ③中央市場 →
④梁川通 → ⑤龍宮神社 →⑥JR小樽駅 → ⑦中央通り →
⑧運河プラザ到着

【楽しむ要素も内容に追加】

- ・探検に出る際には特製探検ノートをもってルートをガイドの方の話を聞きながら探検していただきます。
- ・おたる運がっぱにも子供達が探検を楽しんでもらえるように登場してもらう。

【地元の方々にも協力していただく】

今回、ルートの中で梁川通りでは、松田印判店の方に、龍宮神社では、関係者の方に神社のなりたちについてお話もいただこうと考えています。地域のことをよく知っている方のお話はきっとよりリアルに子供達に伝わるのではないかと思います。

【アンケート調査】

本事業継続する上で終了後の検証の一つとして、事業についてアンケートをお願いし提出していただきます。

【周知方法】

チラシ・ポスターを教育委員会経由あるいは小中学校、市内観光施設へ直接協力依頼、SNS等の情報発信も行います。

【スケジュール】

別紙チラシ参照

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

○事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
10月3日	おたる運がっぱと楽しく学ぼう小樽探学隊	20人	27人
11月6日	〃	20人	21人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

昨年とは違い、開催を2回に分けて行いました。また、会場を運河プラザ三番庫内ではなく中庭で開催いたしました。これは新型コロナウイルス対策として密を避ける事や室内ではなく屋外という事で、より対策を考えた動きが出来ました。

ですが、2回目が11月開催の変更となり、暗くなるのが早くなる事やこの時期になると気温の低下も気になり、子供達の健康面も考えた結果、時間を早めて開催することと中庭授業を三番庫内で開催する事に変更いたしました。

募集としては、今年は抽選という形で募集し、教育委員会経由で各小学校に募集依頼をしたところ、数日間で定員を超えました。その後は大きく増えるような事はなかったのですが、問い合わせをいただき、出来る限り子供達には参加できるように、定員よりも若干増えましたが開催いたしました。

参加者は、昨年参加した方もいました。他には保護者から「小さな時から自分は素敵な街に住んでいるんだよ」という事を知ってもらいたいので参加させたい。というメッセージ付きで申込みをいただきました。

また、2回開催で内容が一緒でも両日参加したいという兄弟もおり、感想を聞いた所「ガイドの方が違うと説明の仕方も違って楽しい」という声をいただきました。また、2回目の探検中はガイドの方に向けた質問も多かったように思いましたので、当団体目的の中の「興味」や「探求心」がしっかり身につけている。それを感じられてとても嬉しい瞬間でした。

その子供たちの参加する姿勢に、現地の方々も説明する言葉にも力が入り、時間を忘れてしまう事も多々ありました。

ガイドの話にメモを取る子、一生懸命にカメラを撮影する子等様々な授業のやり方で参加をしておりました。

最後の質疑応答では、予想以上に子ども達の手が上がり、ガイドの方に一生懸命に質問をしていました。自分から学ぼうとする姿勢がたくさん見れました。事業の目的は達成できたと思います。

参加した子供たちの学年が離れていることで、体力面の心配もありました。高学年が低学年に合わせるように歩いていましたので途中でリタイアすることもなく全行程進めることができました。

市役所の広聴課の方も取材していただき、12月発行の広報おたるに活動の写真が掲載されることになりました。(別紙参照)

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

<子供たちの声>

- ・ガイドの話がやさしくわかりやすかった。
- ・知らない人(参加の子供)だったけど仲良くなった。
- ・昔と今の建物の場所が違っている話など聞いて驚いた。
- ・こんなに街を歩くことが無いので楽しかったです。
- ・小樽駅の入れないところに入れてワクワクした。
- ・神社で松前神楽を初めてみれた。
- ・引っ越してから1年で、知らない事ばかりで楽しかった。
- ・市内の建物がいつできたのか等興味がでました。
- ・榎本武揚の話聞いて、商店街も知りたくなりました。
- ・場所はわかりませんが、もっと建物や人物をしりたい。

3. 今後の事業について

収束しないコロナ禍での開催ではありましたが、ガイドの方にも多くのご協力、そして市内企業の方々にも協力をいただきながら無事開催することが出来ました。

今年は製作体験を無くして、探検のみの開催としましたが、最初集まるかどうか心配な面もありました。ですが募集開始でそんな心配はなくすぐに定員になり、ほとんどの子供たちは自ら親に参加したいと申し出た様です。

今後の事業として、このまま同じ形での開催は継続することが難しいことが予想されます。

参加した子供達からは本事業をきっかけに探求心が生まれ、もっと小樽を知りたいという気持ちが伝わってきました。そういう気持ちを今後も育てていきたいです。

今なお続く新型コロナウイルス対策の配慮を考え、当団体メンバーやガイドの方々と相談を重ね、子供達が市内各所に足を運び自ら学習する自走式の方法や継続の可能性を考えます。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等